

# 14 2017年度 団体

iwakura-shi siminkatsudou-joseikin  
2017nendo katsuyoujissekihokokusyo  
14no dantai-ga samazamanajigyow-wo okonatta kirokudesu.

## 活用実績報告集 — 14の団体が行った事業の記録集

■彩音



■NPO 法人はんどいんはんど



■縁側サロンひなたぼっこ



■古文書に親しむ会



■NPO 法人ローカルワイドウェブいわくら



■西洋音楽ガラ夜話実行委員会



■岩倉リカーサークル



■こどもと未来をつなぐ虹の会



■3R-いわくら



■おこまま



■岩倉五条川桜並木保存会



■いわくらフォークジャンボリー



■岩倉生涯学習市民の会



■いわくら塾



平成29年

4月1日

平成30年

3月31日

# 平成 29 年度市民活動助成金活用実績報告集もくじ

## 3. 岩倉市市民活動助成金とは

### (はじめの一步コース)

4. 「～みんなで歌おう～歌えば明日が元気になる事業」 彩 音
5. 「～手を取り合って子育てを～『訪問型病児保育』を岩倉市に広げよう」  
NPO 法人はんどいんはんど
6. 「高齢者の親睦と社会活動参加への機会を提供する事業」 縁側サロン ひなたぼっこ
7. 「古文書に親しみ、いにしえに思いをはせ『岩倉』を学ぶ事業」 古文書に親しむ会

### (ステップアップコース)

8. 「『音楽のあるまちづくり』推進支援事業」 NPO 法人ローカル・ワイド・ウェブいわくら
9. 「西洋音楽ガラ夜話」 西洋音楽ガラ夜話実行委員会
10. 「『お酒とのおつきあい、お作法』を知って、楽しく健康な生活を推進する事業」  
岩倉リカーサークル
11. 「子どもや親の自己肯定感を育む事業」 こどもと未来をつなぐ虹の会
12. 「不用品を手作りする事で物を大切にすることを育む事業」 3R-いわくら
13. 「子育て世帯の母親による楽器演奏事業」 おこまま
14. 「五条川桜並木保存会を市民に浸透させる事業」 岩倉五条川桜並木保存会
15. 「岩倉市民とフォークソングを楽しむ事業」 いわくらフォークジャンボリー
16. 「昔なつかしい映画を見よう！」 岩倉生涯学習市民の会

### (イベントコース)

17. 「いわくらウォークラリー ～市内の史跡を歩いて新しい発見をしよう～」 いわくら塾

## 18. 平成 30 年度の市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

### 市民活動助成金についての問い合わせ先

岩倉市総務部協働推進課市民協働グループ（市役所 5 階）

Tel : (0587) 38-5803

e-mail : kyoudou@city.iwakura.lg.jp

### 市民活動助成金についての相談窓口

岩倉市市民活動支援センター 岩倉市昭和町二丁目 17 番地 市民プラザ内

Tel : (0587) 37-0257

e-mail : city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp

## 岩倉市市民活動助成金とは

地域が抱える諸課題の解決を図り、市民の福祉向上やまちづくりに貢献するなど、市民活動団体が主体的に取り組むモデル的な事業に対して財政支援を行い、団体活動の活性化や市民活動の拡充を図るものです。

応募された事業については、目的、事業内容などを公開の場で発表する「企画提案発表会」を経て、助成する団体と助成金の額を決定します。

## 助成の種類及び助成額

### 《はじめの一步コース》

これから市民活動に携わりたい団体、設立から3年以内の団体の活動に対し助成します。

**補助期間**：1年      **補助金額**：限度額5万円      **補助率**：90%以内

### 《ステップアップコース》

年間を通して計画的に事業が実施され、3年以上の継続した活動が実施される事業に対して助成します。

**補助期間**：1年ごと      **補助金額**：限度額15万円

**補助率**：1回目 70%以内

2回目 50%以内

3回目 30%以内

### 《イベントコース》

対象年度内に実施する単年度計画のイベント等の活動に助成します。

**補助期間**：1年      **補助金額**：限度額5万円      **補助率**：50%以内

- ※ 複数の団体と協働して行う場合には、どの部門も補助率を10%加算します。
- ※ 平成30年度の助成金対象事業は18ページに掲載されています。
- ※ 平成31年度の募集に関しては平成30年11月上旬に公表されます。

## 平成31年度市民活動助成金についての予定

平成30年10月初旬	： 助成金説明会
平成30年11月中旬	： 申請書類受付 <b>開始</b>
平成30年11月中旬	： 市民活動助成金説明&相談会
平成30年12月中旬	： 申請書類受付 <b>締切</b>
平成31年2月中旬	： 企画提案発表会
平成31年3月初旬	： 内定通知
平成31年4月初旬～	： 決定通知、助成金事業開始

～みんなで歌おう～歌えば明日が元気になる事業



**事業総額 51,230円 助成額 50,000円** (協働団体：コミュニティカフェかがよひ)

・主に備品購入費、消耗品費、印刷製本費として利用

◆活動内容

- ① 市役所ロビーコンサート 3月19日(日) 市役所ロビー 30名
- ② 歌声カフェ 4月21日(金) 珈琲家花ごろも 30名
- ③ 慰問活動花むすび 2月・4月・6月・8月・10月・12月・1月の第4水曜日 2時～  
特別養護老人ホーム一期一会荘 花むすび 20名
- ④ クリスマスコンサート 12月23日(土) おさや糸店2Fかがよひ 30名
- ⑤ 慰問活動みのりの里 12月24日(日) 鈴井ホーム 20名

◆成果

- ・幼児から高齢者の方を問わず幅広いジャンルの歌を歌う事、楽器を鳴らしていただく…最初は硬かった表情も歌う曲が進むにつれて、歌声が大きくなって表情も優しくなりました。
- ・歌う事で楽しく時間を共有できました。

◆工夫と課題

苦勞・工夫

- ・曲が多いので、ファイルを使って歌詞カードを集約する。歌詞カードの大きさ、文字の大きさ、衣装。
- ・年齢別による選曲、小さな楽器を鳴らしていただく。

改善

- ・参加者が1人で歌う事もあるので、歌いやすい雰囲気を作る。
- ・親しみやすい雰囲気(選曲・衣装・楽器・パフォーマンス)を作る事で、どんどん参加していただく機会を増やしたい。

～手を取り合って子育てを～「訪問型病児保育」を岩倉市に広げよう



**事業総額 58,725円 助成額 50,000円**  
 ・主にチラシ・パンフレット印刷製本費として利用

◆活動内容

【ボランティア募集活動】

- ・LINE スタンプ、チラシ作成、ホームページなどの web 作業に対してのボランティア募集チラシを作成、ポスティングや関係大学などに持ち込み獲得を狙った。

【ホームページリニューアル】

- ・料金の掲載内容が分かりづらいと、修正し掲載。当初計画の大幅なリニューアルには至らなかった。

【パンフレット作成】

- ・リーフレットという形で作成。訪問型病児保育の説明に特化して作成。

◆成果

- ・チラシ作成のボランティアを 1 名獲得できたが、他のボランティアは獲得できなかった。
- ・新しいチラシは、分かりやすく目につきやすい物に。各所で配布するにつき、会員・スタッフ募集の問い合わせが急増。保育スタッフの獲得につながった。
- ・リーフレットで訪問型病児保育の説明がしやすく、利用者・保育スタッフ・ボランティア等全ての立場の方に理解してもらいやすくなり、団体についても理解しやすくなったと感じる。

◆工夫と課題

苦勞・課題

- ・担当者の交代が発生し、引き継ぎに苦勞した。
- ・学生のボランティア獲得がうまくできなかった。

改善

- ・チラシの配布時期が夏季休暇と重なってしまった為、次回配布時は長期休暇を避け実施する。

## 高齢者の親睦と社会活動参加への機会を提供する事業



**事業総額 101,900円 助成額 32,000円**

・主に会場使用料、食糧費として利用

### ◆活動内容

・サロン+交流会

とき 毎月第1・3水曜日 午後1時30分～3時30分

ところ 西市町 小笠原宅 平均参加者 15名

そのうち、年3回、特別な行事を開催。

認知症対策講話、交番長講話、婦人会による旗振り、ハンドマッサージ。

### ◆成果

- ・口コミで皆さんが誘い合せ、少しずつ会員が増えました。
- ・配偶者のいる方いない方に関わらず、楽しみにしていただいています。

### ◆工夫と課題

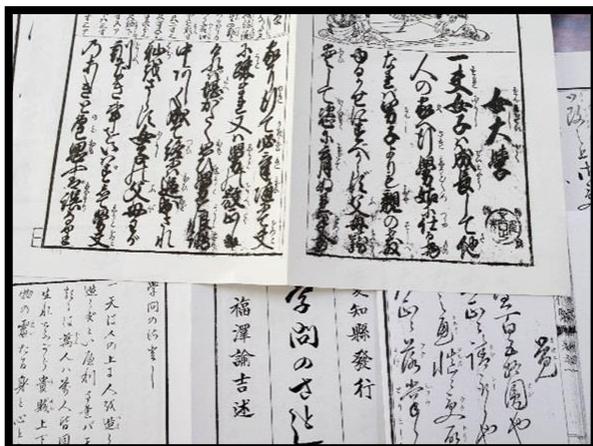
苦勞・工夫

- ・会場が和室で、当初は座居を考えていましたが、皆さんより『膝が痛いので椅子が欲しい』との声がありました。値段の高い椅子は買えないので、牛乳パックで制作された椅子を購入しました。参加者がゆっくりでき、とても喜んでいただきました。

課題

- ・プライバシー保護に留意しながら、参加者全員と情報を共有し、イキイキとした生活環境づくりを目指します。

## 古文書に親しみ、いにしえに思いをさせ「岩倉」を学ぶ事業



**事業総額 201,689円 助成額 50,000円**

- ・主に講師料、印刷費、消耗品費、備品購入費として利用

### ◆活動内容

- ・開催日：毎月第2・第4水曜日 午前9：30～11：30
- ・会場：市民プラザ 会議室1 参加者数12名（男性6名、女性6名）講師男性1名
- ・古文書の基礎から学び、「かな」や異体字など、くずしの基本をしっかりと覚えて、日毎に楽しめるようになってきた。

### ◆成果

- ・1月の第1例会日に講座終了後、新年会を開催し会員の思いをそれぞれに話し、この会と出会って良かったと喜び合っていた。
- ・中には「生涯続ける」という方もいて、和やかな刻を過ごせた。
- ・仲間意識が芽生えた。

### ◆工夫と課題

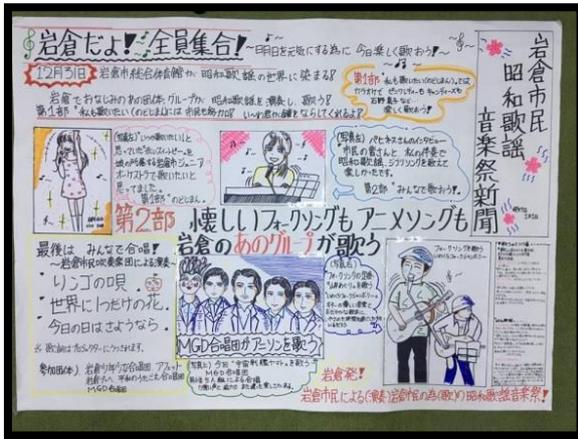
#### 課題

- ・初めは全くの初心者もあり、慣れていただくのに気がついたが、講師の助けを借りながら、興味深く進めることができた。
- ・次年度も、無理なくそれぞれのペースに合わせて、上達していきたい。

#### 改善

- ・参加者を増やしながら、学んでいきたいと考えているが、やはり口コミが一番だという結論になった。こういう会もあるのだと、折にふれてPRして、市民の皆様にもっと興味を持ってもらえるように工夫したい。

## 「音楽のあるまちづくり」 推進支援事業



**事業総額 167,110円 助成額 111,000円**

- ・主に講師謝金、消耗品費、印刷費、会場使用料として利用

### ◆活動内容

- ・6/11(日)45名 テーマ出し、7/9(日)25名 テーマ出し・掘り下げ、9/3(日)23名 テーマ掘り下げ・未来新聞作り、10/15(日)16名 未来新聞作り、11/19(日)13名 未来新聞作り、1/21(日)13名 テーマ掘り下げ、3/21(水)14名 テーマ掘り下げ・具体的提案
- ・音楽のあるまちづくりを進めるため何が必要か、様々な事業アイデア(テーマ)が出された。
- ・1、2回目は日本ファシリテーション協会から、3回目以降は個人ボランティアとしてファシリテーターを務めていただいた。

### ◆成果

- ・事業1年目は何をなぜ行うかについて議論を深めた。
- ・合計7つのテーマが出てきた。具体的に動き出すのは4つほどのテーマとなりそう。
- ・途中からミニライブを行うなど、それぞれ新しい音楽に触れる機会にもなった。

### ◆工夫と課題

苦労・工夫・課題

- ・参加者集めが難しかった。参加者間で方向性が違うことが出てきた。
- ・ファシリテーターが参加者に意見が出やすくなるよう様々な仕掛けを用意した。
- ・毎回終了後にミニ新聞を発行。参加者が経過を理解でき、参加者を募るときも利用できた。
- ・テーマを実現させるための壁が多い。新しい参加者を増やす工夫が必要。

改善

- ・次年度はテーマを実現するため、新たな参加者を募り、具体的な対策を考えて、様々な試行をイベントとして行っていく予定。

## 西洋音楽ガラ夜話



**事業総額 151,380 円 助成額 98,000 円** 協働団体：オクトパス合奏団

・主に講師謝礼金、備品購入費として利用

### ◆活動内容

- ・西洋音楽ガラ夜話（会場はいずれも市内昭和町コミュニティカフェかがよひ）
- ・平成 29/ 8/20(岩本悦雄)17 人、9/27(加藤政雄)11 人、10/25(山本雅士)14 人
- ・平成 30/ 1/24(加藤政雄)3 人、2/28(山本雅士)12 人

### ◆成果

- ・参加者には、熱心な姿勢で音楽と親しむことができ、満足いただけました。ハードルが高いと感じられる傾向にある西洋音楽について、レクチャーを通してその背景を理解することで、より身近に感じてもらえたと思います。

### ◆工夫と課題

苦勞・課題

- ・告知、宣伝広告、集客に苦勞しました。特にたくさんのビラを市内施設・事業所に置いていただきましたが、数にはつながらなかった。実際にビラ置き場ではあまり見かけませんでした。

改善

- ・集客に直結したようには感じられなかったが、継続することに意義があるので、今後も粘り強くビラ配りや広報紙掲載を続けていきます。

### 「お酒とのおつきあい、お作法」を知って、楽しく健康な生活を推進する事業



**事業総額 152,009 円 助成額 117,000 円** 協働団体：小牧小売酒販組合

・主に講師料、印刷製本費として利用

#### ◆活動内容

- ・H29.10.15(日) 講演会「お酒とのおつきあい、お作法」大野佳枝 岩倉市民プラザ 参加者 43 名  
CATV 取材&ニュース放映
- ・H30. 1. 7(日) 岩倉市成人式にて、新成人 420 人に「アルコールハンドブック」を配布啓発 体育文化センター
- ・H29. 5 月～10 月 「お酒とのおつきあい方」啓発運動を各種団体へ働きかける【江南保健所、岩倉市保健センター、岩倉市医師会、岩倉ライオンズクラブ、岩倉市議会、アピタ岩倉、ピアゴ八剱店、スギ薬局、生鮮館岩倉 等】

#### ◆成果

- ・講演会の参加者は、飲酒に対して適正なる飲み方や健康への影響を理解していただけた。又周りの家族、職場の方への啓発も意識していただけた。
- ・成人式で「アルコールハンドブック」を配布したことにより、新成人にお酒とのおつきあいの仕方を意識してもらえたと感じている。

#### ◆工夫と課題

工夫・課題

- ・講演会への参加を各団体へ働きかけ賛同を得た。啓発活動も一緒に行えるとなお良い。
- ・小売店・販売店に消費者への働きかけはしてもらえたが、経営者や店長など幹部の意識の差は大きい。(社会の働き、コンプライアンスに対する意識)
- ・新成人に渡すだけでなく、説明会・講演会をしないと、読んでもらうことすらないと今になって思う。

改善

- ・内閣府・厚生労働省・医師会・教育関係など行政からの働きかけ活動をもっと全国民に徹底して欲しい。関係行政と地道に根気よく活動するしかない。
- ・講習会・講演会の場を多く設定する必要がある。

## 子どもや親の自己肯定感を育む事業



**事業総額 171,743 円 助成額 120,000 円**

・主に講師・チラシデザイン・手話要約筆記の謝礼として利用

### ◆活動内容

1. 明橋大二先生講演会「みんな輝ける子に」

- ・4月22日 講演会に向けての意見交換会開催 生涯学習センター会議室 参加者 10 名
- ・7月29日 講演会開催 総合体育文化センター多目的ホール 参加者 160 名

2. 10月7日 ワークショップ「子どもも親もみんなかがやくために」開催 市民プラザ多目的ホール 参加者 9 名

### ◆成果

- ・「1」のアンケートで、子育てや自分自身に自信を持って取り組む、これからの行動や発言を変えていく、とコメントがあり大変効果はあったと感じた。
- ・「2」の参加人数は、少なかったがとても中身の濃い話し合いができた。特に児童館の役割について深く話が進んだ。

### ◆工夫と課題

苦勞・工夫

- ・ママさんつながりで、司会や設営のボランティアが多く集まり少ないメンバーでも大きな講演会を開催する事ができた。
- ・小さな子どもにも参加してもらえよう、会場後方にカーペットを敷き、子どもと親が遊びながら聴けるスペースを設けたので子連れでも参加しやすかった。

課題・改善

- ・講演会以外にワークショップの開催を呼び掛けても、参加人数の少ないことが判明した。
- ・参加された方はたいへん熱心な方なので、少なくとも続けるべきか、思いがそこまで強くないが参加することで行動に移す人を増やすか、今後検討していきながら活動していきます。

## 不用品を手作りする事で物を大切に作る心を育む事業



**事業総額 24,763 円 助成額 17,000 円**

・主に消耗品費、会場使用料として利用

### ◆活動内容

- ・第2・第4木曜日にさくらの家で、古いネクタイや毛糸等を活用した手芸を行っている。
- ・メンバーで作製した布ぞうりを市内全園の全年長児童に配布した。

### ◆成果

- ・布ぞうりは、児童たちに大変喜んでもらえた。

### ◆工夫と課題

課題

布ぞうりを作る人を集めることに苦労しました。

改善 3R-いわくらに加入する人を募集したいです。

## 子育て世帯の母親による楽器演奏事業



**事業総額 27,688 円 助成額 19,000 円**

・主に会場使用料、備品購入費として利用

### ◆活動内容

- ・施設、イベントでの演奏活動 5/25：5月お誕生日会(子育て支援センター)、9/23：岩倉市民プラザまつり、11/12：クリスマス会(第四児童館)約 20 名、12/7：妊産婦交流会(コミュニティカフェかがよひ)約 10 名、12/12：クリスマス会(北名古屋市熊之庄児童館)約 20 名
- ・【お下がりあげますの会】開催  
4/3、6/26、10/13、2/2、(市民プラザ会議室、多目的ホール) 約 40～80 名
- ・イベントに向けた練習、情報交換、子ども同士の交流  
週一回程度 (市民プラザ会議室、北名古屋市熊之庄児童館)

### ◆成果

- ・イベントや現会員の呼びかけにより、新会員が 3 組入団した。
- ・【お下がりあげますの会】では過去最多(77 組)の参加者があった。また、母親だけでなく祖母世代にも参加していただけた。
- ・市民プラザまつりでは、幅広い世代に演奏を聴いていただけた。

### ◆工夫と課題

工夫

- ・【お下がりあげますの会】では場所を会議費から多目的ホールへ変更した事でゆとりある空間となり、多数の参加者を得ることができた。
- ・また、ベビーカーの方も入りやすく、たまたま通りかかった方も気軽に立ち寄れる場となった。
- ・妊産婦交流会では、楽器演奏、情報交換の他、【新生児用お下がりあげますの会】を同時開催して、参加者に好評をいただいた。

改善

- ・今後も活動を継続していけるよう、新会員へ活動内容の引継ぎを行うと共に、新会員募集の呼びかけも行う。

## 五条川桜並木保存会を市民に浸透させる事業



事業総額 344,000 円 助成額 150,000 円

・主に印刷製本費として利用

### ◆活動内容

岩倉五条川桜並木保存会設立 10 周年記念誌の発行

- ・当初 11 月に発行予定が、3 ヶ月ほど遅れて完成し発行することができた。
- ・主に市民の目に触れる行政窓口、出先機関や協力行政区、団体や店舗等へ 500 部配布。
- ・記念誌の内容は、設立以来 10 年の歩みを活動記録を年別に整理、関係者の思いや訴えを収録し節目のメッセージとして記録することが出来た。

### ◆成果

設立から 10 年の歩みを振り返りこれを記録にし、多くの市民に披露することができれば、桜を大切に作る心を少しでも育むものと期待しています。商工農政課窓口を設置協力を求めるほか、会員を通じ行政機関の窓口や協力店舗へ配布し、多く市民に触れるようにする。

### ◆工夫と課題

苦勞・課題

- ・計画した日程を大幅に遅れ、関係者からの情報提供や整理・意見集約に予想以上に日程を費やした。

改善

- ・保存会の情報の集約、一元管理化に努力する。

# ❖ いわくらフォークジャンボリー ステップアップコース2回目

## 岩倉市民とフォークソングを楽しむ事業



**事業総額 66,996円 助成額 33,000円**

- ・主に会場使用料、備品購入費として利用

### ◆活動内容

- ・平成29年8月27日(日) 市民プラザ多目的ホール 参加者 約100人 サマーコンサート
- ・平成29年9月17日(日) 有料老人ホーム 滞 参加者 約30人 敬老会での演奏
- ・平成30年2月18日(日) 岩倉市役所ミニステージ 参加者 約40人 ロビーコンサート

### ◆成果

- ・岩倉市外からの参加者が多いサマーコンサートのアンケート集計を見ると、いわくらフォークジャンボリーのコンサートに何度も来られている参加者の割合が過去最高となり、認知度の高まりを感じる。
- ・今年度は従来のコンサートに加え、有料老人ホームの慰問も行い、活動範囲が広がった。

### ◆工夫と課題

工夫・課題

- ・ワイヤレスマイクの購入により、曲による楽器構成の変更にスムーズに対応できるようになった。
- ・近隣の市の施設へのチラシの配布は、ひとつずつ訪問しての直接交渉が必要だった。

改善

- ・近隣の市の施設へのチラシの配布を岩倉市から依頼してもらいたい。

## 「昔なつかしい映画を見よう！」



**事業総額 120,958 円 助成額 37,000 円** 協働団体：いわくら認知症ケアアドバイザー会  
 ・主に講師謝礼金、印刷製本費、会場使用料として利用

### ◆活動内容

- ・6月7日 ふれあいセンター 参加者 28名 上映映画「愛と死をみつめて」ケアドカフェによる認知症予防講座開催
- ・8月4日 泉会館 参加者 17名 上映映画「男はつらいよ」ミニ歌声開催
- ・10月30日 曾野公会堂 参加者 24名 上映映画「社長太平記」
- ・11月16日 井上会館 参加者 18名 上映映画「喜びも悲しみも幾年月」ケアドカフェによる認知症予防講座開催
- ・12月14日 井上会館 参加者 8名 上映映画「忠臣蔵」
- ・1月18日 井上会館 参加者 9名 上映映画「男はつらいよ」音楽療法士によるプチコンサート

### ◆成果

- ・映画会の開催で、これまでマンネリ化していた地域活動に参加者が増え、又集まりのない地域でも多くの人が参加してくれた。継続していく事が大切である。

### ◆工夫と課題

#### 課題

- ・行政区及びゆうわ会の活動に地域の濃淡がある。ますます高齢化が進む中、地域毎で集れるコミュニティーの「場」づくりが緊急課題、公民館を賑わいの場として活用するなど組織づくりネットワーク作りが必要と思う。

#### 改善

- ・町内の各団体に声をかけ公民館での開催を継続実施していく。

## いわくらウォークラリー ～市内の史跡を歩いて新しい発見をしよう～



**事業総額 110,850 円 助成額 50,000 円** 協働団体：岩倉軽トラ市実行委員会

・主に消耗品費、食糧費、傷害保険料として利用

### ◆活動内容

- ・平成 29 年 10 月 15 日(日) 岩倉市内 参加者 71 名 ※雨天の為軽トラ市(協力団体)は開催中止
- ・岩倉市民や来訪者に、市内の史跡を中心とした名所を見学して、いわくら塾生の説明に耳を傾けたり楽しみながら歩いたり、改めて市内の魅力を発見していただいた。
- ・神明ふれあい広場⇒證法寺⇒新溝神社⇒龍潭寺⇒史跡公園⇒正起寺⇒誓願寺⇒岩倉城跡⇒山内一豊誕生地碑⇒下之町山車⇒神明ふれあい広場 (所要時間 2 時間程度)

### ◆成果

- ・雨天にもかかわらず、大勢の方々・子供たちが参加して、友だちと楽しそうに歩いてくれたのでよかった。「岩倉に住みながら、知らない場所等を今日は知ることができてよかった」という声が多かった。
- ・年齢の幅が広く、幼児から高齢者までほとんどの人が完歩でき、誰一人怪我がなくてよかった。
- ・普段はできないお寺の内部を見学できて、喜んでみえた。
- ・「抽選があるので、楽しみにして参加した」という声が多々あった。

### ◆工夫と課題

苦勞・工夫・課題

- ・塾生の人数が減っているため、道路への人員配置に苦勞したが、市役所・社協・IVC の方たちの協力があったり、道順の表示に三角コーン(矢印をつけて)を置き、わかり易さと人の代わりになり、一挙両得だった。史跡等の選定が広範囲となり、コースの距離が長くなった。早く次の場所に行きたいため競争しているようで、目的が違うように思えた。
- ・塾生が協力しあえた点が良かった。
- ・景品の選定に苦勞した。

改善

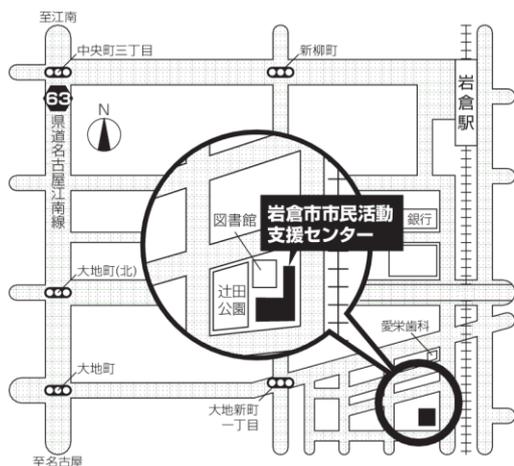
- ・塾生が減少していくことは、止められない現象である。どこの団体でも同じ悩みを抱えていると思うが、増やすことは大変難しい。減らさないように、“やりがい”と感じる事業、体力に合った事業を続けたい。

# 平成30年度 市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

コース	番号	団体名	事業名	内容
はじめの 一歩	1	キミノセカイ～Kids☆Photo～岩倉支部	カメラを通じて『自己肯定感』を育てる「こども写真教室」運営	写真の撮影を通して、子どもたちの自己表現を促し、自己肯定感を高める活動。 ①(4月)桜まつりの開催に合わせて、市内の小学生を対象とした「こども写真教室」の開催 ②(8月、1月)「こども写真教室」で撮った写真の展示、出展
はじめの 一歩	2	ひだまり会	市民の健康づくりと憩いの場を提供する事業「ひだまりサロン」	高齢者の居場所づくりや交流を深め、心身の健康を保つための事業を開催する。 ①(月1回)健康ヨガ(交流サロン同時開催) ②(月4回)「カケナイ・スワナイ・ノマナイ」を約束事とする健康マージャンの実施 ③(年5回)健康に関する講話会
ステップ アップ 1/3	3	NPO法人はんどいんはんど	孤育てじゃないよ！全員集合♪	主に父親向けに訪問型病児保育の理解を深める活動を行う。また、子育て、家事についての川柳を公募し、訪問型病児保育の認知・宣伝等のための広報資料として使用していく。 ①(6月、8月)病児に適した料理教室と実食を交えた父親向け交流会の開催 ②(11月)①で交わされた意見をもとに、家族みんなで思いを打ち明ける地域(家族)交流会の開催 ③(8月～2月)子育てや家事をテーマにした川柳を募集・掲示・宣伝していくことで子育て世代の理解を深める
ステップ アップ 1/3	4	岩倉市子ども会連絡協議会	親子でイモイモ大作戦	子ども同士や親同士が知り合い、つながり、地域への愛着をもってもらうための事業の開催。 ①(5月)さつまいもの苗植え体験 ②(10月)岩子連農園で芋掘りを体験し、落ち葉で焼き芋作りを行う秋の大収穫祭の開催。親子レクリエーションや餅つき体験も併せて行う
ステップ アップ 1/3	5	彩音	～みんなで歌おう～ 歌えば明日が元気になる事業	福祉施設の利用者や、歌が好きな市民と一緒に歌う、参加型の演奏会の開催。参加者に楽しんでもらうための取り組みとして、コスプレでの演奏も取り入れる。 ①(随時)定期的な慰問演奏活動を協働団体と一緒に ②(4月、10月)歌声喫茶の開催 ③(12月)クリスマスコンサートの開催
ステップ アップ 1/3	6	古文書に親しむ会	古文書に親しみ、いにしえに想いを寄せ「岩倉」を学ぶ事業	①(月2回)岩倉の歴史に触れながら、古文書の解説をするための講義を年間を通して開催する ②(通年)岩倉に所蔵されている古文書を解説・翻訳し、資料として残せるものを作成する
ステップ アップ 1/3	7	食と健康実践塾	健康について考える親子料理教室	①(3ヶ月で8回)野菜ごとの調理法とバランス食についての親子料理教室を開催する ・バランス食に関する講座と料理体験 ・岩倉野菜で子どもが作れる簡単なおやつ作り ②(随時)ネットコンテンツ「岩倉タイム」を企画し、定期的に情報を発信する
ステップ アップ 2/3	8	おこまま	子育て世帯の母親による楽器演奏事業	演奏活動を通して、子育て世帯の母親同士の情報交換・交流の場を作るための活動。 ①(年3回)妊産婦・親子向けに手遊び、絵本読み聞かせ、ミニ演奏、ベビースリング体験等を行う「妊産婦交流会」の開催 ②(年2回)市民プラザまつり等市内イベントでの演奏活動 ③(年4回)子ども用品のお下がりを無料で預かったり譲ったりする「お下がりあげますの会」開催
ステップ アップ 2/3	9	こどもと未来をつなぐ虹の会	子どもや親の自己肯定感を育む事業	親子が共に自分に自信を持ち、自己肯定感を高めるための活動。 (8月、11月、2月)先輩ママによる講義及び子育てママとの座談会の開催(全3回)
ステップ アップ 2/3	10	NPO法人ローカルワイドウェブ いわくら	「音楽のあるまちづくり」推進支援事業	「音楽のあるまちづくり」の実現に向けて具体的なテーマについて検討し、実施につなげる。 ①(隔月)「みんなで音楽のあるまちづくりを進めていこう」推進会議(ワークショップ形式) ②(通年)演奏者と行事をつなぐ「演奏者マッチングシステム」の試験的運用 ③(7月)市内のお寺での演奏会「おてらいぶ」の開催(交渉は今後行う) ④(隔月)オリジナル音楽情報誌「おんしん」の発行
ステップ アップ 2/3	11	西洋音楽ガラ夜話実行委員会	西洋音楽ガラ夜話	①(年5回)市民が西洋音楽(主にクラシック、現代音楽)に触れて、親しみを持ってもらうための行事を三部構成で開催する。 ・「西洋音楽を知ろう！」西洋音楽についての講習会 ・「西洋音楽を聴こう！」プロの音楽家による演奏会 ・「西洋音楽に触れよう！」実際に楽器に触れて、演奏する ②(通年)岩倉市の掲げる「音楽のあるまちづくり」のPR活動
ステップ アップ 3/3	12	いわくらフォークジャンポリー	岩倉市民とフォークソングを楽しむ事業	フォークソングを中心とした、歌と楽器の生演奏によるコンサートの開催。 ①(8月)サマーコンサート(市民プラザ) ②(2月)ロビーコンサート(市役所) ③(随時)施設の慰問活動や、他団体とのジョイントコンサートを企画するなど活動の幅を拡大する



## 岩倉市市民活動支援センター



- 住所 / 〒482-0011 岩倉市昭和町二丁目17番地
- TEL・FAX / (0587)37-0257
- 開館時間 / 9:00-21:30      ■ 休館日 / 年末年始
- メールアドレス city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp
- ホームページ <http://www.iwakura-plaza.jp/shimin/>

下記の市民活動支援センターのブログにリンクしています

- 市民活動支援センターNEWS    ■ 岩倉の市民活動団体
- ムービーいわくら            ■ 岩倉インフォメーション

メールマガジン登録はコチラから > iwakura\_ad@lw.ne.jp

**facebook** 岩倉市市民活動支援センター    **twitter** @IwakuraCSC

インターネット   で検索してください

